

経営発達支援計画

2023年度 評価会議結果について

1. 日 時：2024年7月5日（金）13：30～15：00
2. 場 所：浜松商工会議所 4階特別会議室
3. 出席者：委員長 鈴木宣二（静岡県中小企業診断士協相談役）
委 員 菅沼久和（静岡県信用保証協会常務理事）
秋田 聡（東海税理士会浜松西支部長）
伊藤 忠（東海税理士会浜松東支部長）
4. 評価の目的：2023年度に実施した経営発達支援計画の事業実施・成果について評価を行い、見直し案等の提示を行なうことで支援計画の改善につなげる。
5. 評価の手法：各評価事項における定量及び定性的観点から4段階で評価する。
6. 評価の反映：委員からの提言をもとに改善案を検討し、2024年度の事業実施計画等に反映させる。
7. 主な指標（2023年度実施結果）

大項目	実施内容	目標	実績
1. 地域の経済動向調査に関すること	中小企業景気動向調査（天気図版）	年4回	年4回
	浜松地域の経済動向	月1回	月1回
	「商工振興委員」による情報収集	月1回	月1回
	「ブロック巡回」による情報収集	月1回	月1回
2. 経営状況の分析に関すること	セミナー開催	5回	24回
	経営分析実施件数	300件	410件
	経営指導員等一人当たり実施件数 ※15名で算出	20件	27件
3. 事業計画策定支援に関すること	事業計画策定事業者数	210件	348件
	経営指導員等一人あたり件数 ※15名で算出	14件	23件
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ対象事業者数	210件	808件
	頻度（延べ回数）	840件	1,176件
	売上増加事業者数	100社	83社
	営業利益額増加事業者数	90社	69社
5. 需要動向調査に関すること	農業現場における需要動向調査	5社	6社
	商談会等の企画を通じた需要調査	7社	124社
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	新技術・新工法展示商談会の開催 [技術マッチング]	3社 成約1件	0社 成約0件
	浜松版「ものづくりパートナー紹介サービス」の実施	5社 成約1件	20社 成約1件
	商談会参加事業（BtoB）	7社 成約1件	72社 成約5件
	催事出店事業（BtoC）	8社 成約1件	52社 成約7件
	アライアンスパートナー発掘市（BtoB）	20社 成約1件	14社 成約0件
	販売促進に繋げるIT活用支援	15名	10名

2024年度 浜松商工会議所経営発達支援計画評価結果

分類	項目	総合評価	委員コメント
経営発達支援事業の内容	1.地域の経済動向調査に関すること	A	・県西部の景気動向についてタイムリーに情報を把握し、発表ができていたと感じた。（秋田委員） ・地域小規模事業に絞ったデータ情報の提供は貴重である。（菅沼委員）
	2.経営状況の分析に関すること	A	・診断士協会と連携して経営相談窓口を開設しており、相談者が増加している。（鈴木委員長） ・第3者承継のセミナーは今後も必要なコンテンツなので、続けて普及啓蒙を行っていただきたい。（伊藤委員）
	3.事業計画策定支援に関すること	A	・経営分析を行った事業者へのアプローチやHPに専用ページを開設するなど工夫をすることで相談件数が増加しており、評価できる。（菅沼委員） ・きめ細かいフォローができていたと感じた。会員からの需要に対して十分対応できている。（秋田委員）
	4.事業計画策定後の実施支援に関すること	A	・フォローアップは十分されている。但し、計画が順調でない事業者への対応が必要である。未来構想塾は大変良い活動である。（鈴木委員長） ・継続的なモニタリングが必要な支援先も見受けられるが、支援はできている。（秋田委員）
	5.需要動向調査に関すること	A	・マッチング調査は、農業現場の作業効率の向上に資する事業だと感じた。（秋田委員） ・商談会の催事関係は頻繁に開催されており、多くの企業に出展されている。（鈴木委員長）
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	B	・成約までには至っていないが、大手企業との個別相談会を開催し、マッチングへ結び付けたことは評価できる。（菅沼委員） ・マッチング事業で成約が多く地域経済に貢献されている。商談会・催事と小売店の仕事の拡大に貢献できている。（伊藤委員）
地域活性	7.地域経済の活性化に資する取組	A	・人手不足解消に向けて外国人、U. I ターン移住希望者、若年層へのアプローチの他、生産性向上に向けてロボット導入を促進した取組みは大いに評価できる。（菅沼委員） ・求人对策について外国人、大学、高校と対応を変えて努力されていると感じた。（伊藤委員）
支援力向上	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	B	・よろず支援拠点との連携が取れていることで、細かな相談にもワンストップで対応することができている。また、事業引継支援もよく実施されている。（鈴木委員長） ・他の支援期間と連携することで様々なサービス提供につながる。今後も連携強化に努めて頂きたい。（秋田委員）
	9.経営指導員等の支援力の向上の仕組み	A	・経験の浅い経営指導員には、ベテラン指導員がOJT方式で指導するなど資質向上に取り組んでおり、大いに評価できる。（菅沼委員） ・若い指導員の成長が、OJTなどを通じてじっくりできていると思う。（伊藤委員）
	10.支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	A	・商工会議所の評価できる取組をHPで公表し、知っていただくことは会員事業者の安心感につながる。（菅沼委員） ・評価結果の公表をしており、透明性を保っている。（伊藤委員）今後も、情報発信はこまめに行っていただきたい。

A：目標を達成することができた（100%以上） B：目標を概ね達成することができた（80～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～70%） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）